

宗教委員会&学修支援センター共同企画 「クリスマスリースをつくろう」レポート

日時：12月10日（水）14時40分～17時00分

場所：2号館1階 学修支援センター 学習室1

講師：鈴木みゆき先生（外部講師）

参加者：人間発達学科4年 1名、人間発達学科3年 1名、総合福祉学科4年生 2名、
国際教養学科4年 1名、グローバル・スタディーズ学科2年 2名、留学生4名

学生 計11名

職員 1名



<準備>

クリスマスまでのアドヴェント期間中は、一日一日を楽しみにして待ちます。その表現の一つがクリスマスリースづくりです。外部から先生をお呼びし、本格的なクリスマスリースをみんなで作ってみようということで、シスターの加藤先生ご提案により開催されました。

みんなで準備から始めます。床が松ヤニなどで汚れないようブルーシードで保護し、材料を一人ひとりに配分します。机はダイヤ型に配置、講師の先生にクリスマス音楽を流していただき、リースづくり開始です。



<土台の枠づくり>

使用する素材の説明を受けます。初めて聞く木々や花の名前ばかり。また、同じ緑でもニュアンスの違う色合いを入れることでリースに動きが出ることも教えてもらいました。

緑系：バーセリア・ヒムロ杉・ブルーアイス・ユーカリポポラスベリー・

赤系：サンキライ・ナナカマドなど



まず、ヒムロ杉を8センチの長さに切り分けます。杉のよい香りが広がります。すべて切り分けるとこんもりとした山ができました。

次に、土台の枠にヒムロ杉をワイヤーでまきつけていきます。土台を隠すようにくりつけますが、ヒムロ杉が最後で足りなくならないようバランスなども考えながら、皆さん言葉少なめに集中して作業しました。手先を動かし、集中して何かに取り組むことで、自分と向き合う時間になったという意見もありました。

また、製作中に参加者のシスターより、リースの由来などもご説明いただき、知識も深まりました。



<飾りつけ>

ヒムロ杉など巻きつけた後は、先生に予め作成いただいたリボンを配置します。リボンを枠の上部に止めたり、下部に止めたり。このあたりには、学生のみなさんの個性が表れます。

最後に、松ぼっくり・サンキライ・どんぐりなどをグルーガンで付けて完成です！

どんぐりは裏山で参加者が集め、松ぼっくりは修道院から、サンキライは職員の方からお譲りいただきました。ご協力いただき、ありがとうございました！



<お茶会>

みんなで片付けした後に、修道院からいただいたお菓子で、講師の先生を囲んでのお茶会です。

先生やシスターのお話をききながら、ゆったりとした有意義な時間を過ごしました。外部の先生に来てもらうことで、学生にとってはとてもいい刺激になったようです。